

障害補償給付支給請求書の書き方

様式第10号 (表面)

労働者災害補償保険

障害補償給付支給請求書 障害特別支給年金支給申請書 障害特別一時金

(注 意)

一 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
二 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
三 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
四 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
五 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
六 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。
七 請求人は、請求書提出後、請求書に記載の事項が変更された場合は、速に本表を提出し、変更後の事項を記載する。

① 労働保険番号 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	フリガナ 氏名 (男・女) 労働者フリガナ 住所 フリガナ 職種 所属事業場名称・所在地	④ 負傷又は発病年月日 年 月 日
② 年金証書の番号 管轄局 種別 西暦年 番号	⑤ 傷病の治癒した年月日 年 月 日	⑦ 平均賃金 円 銭
⑥ 災害の原因及び発生状況 (災害発生場所、作業内容、状況等を簡明に記載すること。)		⑧ 特別給与の総額 (年額) 円
⑨ ① 厚生年金保険等の受給関係 ① 厚生年金保険等の基礎年金番号・年金コード ② 当該傷病に關し支給される年金の種類等 ③ 支給されることとなった年月日 ④ 年金証書の記号番号 ⑤ 所轄社会保険事務所等	② 被保険者資格の取得年月日 年 月 日 ③ 厚生年金保険法の 国民年金法の 船員保険法の 障害年金 障害年金 障害年金 障害基礎年金	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		
⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		
⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		
⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		
㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿		

- (1) 通勤災害の場合は様式第16号の7
- (2) 請求人 (申請人) が傷病補償年金を受けていた場合は、①、④及び⑥には記入不要。
- (3) 直接所属している事業場が一括適用の取扱いをしている支店、工場、工事現場等の場合に記入する。
- (4) 事業主の証明が必要になる。
- (5) 同一の傷病について厚生年金保険等の年金を支給される場合にのみ記入する。
- (6) 請求人 (申請人) が特別加入者の場合は、⑦ には、その者の給与基礎日額を記入する。④及び⑥の事項を証明する書類などの資料を添付する。⑫欄に添付資料を記入する。
- (7) 金融機関で受け取ることを希望する場合にあっては「金融機関」欄に、郵便局から受け取る場合は「郵便局」欄にそれぞれ記入する。
- (8) 自筆による署名の場合には、押印は不要。

上記により 障害補償給付の支給を請求します。
障害特別支給年金
障害特別一時金の支給を申請します。

年 月 日 請求人の住所
労働基準監督署長 殿 申請人 氏名

振込を希望する銀行等の名称 銀行・金庫 農協・漁協・信組	預金の種類及び口座番号 本店 支店 支所 普通・当座 第 号 名義人
------------------------------------	---